



2025年10月号 (No.30)

多気町立図書館だより

TEL:0598-38-1133 (多気図書館)

TEL:0598-49-4500 (勢和図書館)

<https://www.town.taki.mie.jp/library/index.html>



多気町立図書館講演会



子どもの読書の水先案内人に
～斎藤惇夫さんをお招きして～

日時:11月8日(土)14時～15時30分

場所:勢和図書館

※申込が必要です。詳細はチラシをご覧ください。

斎藤先生がおすすめ
する、子どもにも大人
にも読んでもらいた
い本をコーナーにて
展示中!



『現在(いま)、子どもたちが求めているもの』
斎藤惇夫 キッズメイト (019.5円)

多気図書館

10月のカレンダー

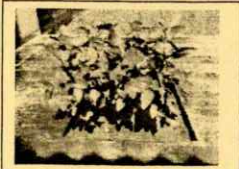
☐: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
おはなし会 10:30～			1	2	3	4 おはなし会
5	6	7	8	9	10 おはなし おもちや	11 おはなし ほけっと
12	13	14	15	16	17 赤ちゃん おはなし 会	18
19	20	21	22	23	24	25 おはなし ほけっと
26	27	28	29	30	31 整理日	

おまめののぞきまど



多気図書館のホールに
“おまめののぞきまど”が
あります。そこから覗くと、
枝豆の成長が観察できます!
ぜひ本と一緒に観察して
みてください!



勢和図書館

10月のカレンダー

☐: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
おはなし会 10:30～			1 おはなし会 (0歳)	2	3	4
5 ほんと カフェ	6	7	8	9	10	11 おはなし会
12	13	14	15 おはなし会 (1～3歳)	16	17	18
19 親子で リラックス スキンシップ	20	21	22	23	24	25 文化祭
26	27	28	29	30	31 整理日	

ブックスタート(おひさま) 10/24(金)10:00～

～イベント紹介～

- ほんとかフェ&歌のコンサート
と き:10月5日(日)13:00～16:00 コンサート:14:00～
コラボ:ホテルカゴさん、B'sshopさん
う た:合唱団 翡翠(かわせみ)
- 親子でリラックス・スキンシップ
と き:10月19日(日) ※要申込(10/1～)
- せいわ地域文化祭 と き:10月25日(土)
ふれあい動物園&おはなし会 10:00～12:00
図書館なぞとき探検 14:30～

FB・Insta→「多気町立勢和図書館」

か「seiwilib」で検索



10月のおすすめ本



『35年目のラブレター』 小倉 孝保:著 講談社 (289.1円)

小学校にもわずかししか通わず、読み書きを学んでこなかった西畑さん。成長し社会に出るとともに、読み書きができない現実が大きく西畑さんを襲います。自分の子どもの出生届けも自分で書けないのです。

しかし、最愛の奥さんにお手紙を書くために夜間学校で学び始めます。そんな西畑さんの半生が記された感動の一冊。

『世界自炊紀行』 山口 祐加:著 晶文社 (383.8円)

自炊初心者や苦手な人に「自炊のサイクルをスムーズに回す方法」を教えている自炊料理家の山口さん。世界12か国を取材し、自炊事情をレシピとともに紹介した紀行文です。読めば自炊が楽しくなる!

その国ならではの食材で、自分だったらどんな料理を作るかな?と想像するだけで、とても楽しい!秋の夜長におすすめです!



『クマはなぜ人里に出てきたのか』 永幡 嘉之:著(文・写真) 旬報社 (489.5円)

各地でクマの出没のニュースが相次ぎ、他人事でなく関心を持ってみえる方も多いのではないのでしょうか?

山形を拠点に自然環境の保全にも取り組む自然写真家の著者が、秋田県でのツキノワグマ大量出没について考察。入門書としてぜひ。

『デジタル脳クライシス』 酒井 邦嘉:著 朝日新聞出版 (491.3円)

8月冒頭。小中学生の学力低下について、各誌大きく掲載されていました。そんな中、ある学校ではデジタル教科書ではなく、紙の教科書で授業を進める学校の様子が紹介されていました。

デジタルと紙の教科書、どんな違いがあり、学力とどうつながっていくのでしょうか。



『サイレントシンガー』 小川 洋子:著 文藝春秋 (F913.6円)

指言葉を使う人々の側で育ったリリカ。リリカの歌は人や動物の心や魂を鎮める。多くを望まず、時の流れがもたらすものにあらがわず、そして完全を求めず。

リリカと周りの大切な人たちが過ごす、静かで心穏やかな物語。

『ザ・ロイヤルファミリー』 早見 和真:著 新潮社 (B913.6円)

競馬界を舞台に、父から子へ、夢と血が受け継がれる“継承”と“絆”の熱くて切ない物語。

馬主とその周囲の人々の、葛藤や夢が丁寧に描かれ、登場人物の人間臭さがとても魅力的です。競馬を知らなくても全く問題なし。知っているとならに楽しめる!

「家族とは何か?」を静かに問いかけられているような作品です。

